

G30日本語教育 2018年度報告

国際教育交流センター国際プログラム部門

初鹿野 阿れ・徳弘 康代

1. 国際プログラム (学部) における日本語科目

2108年度, G30国際プログラム (学部) の必修科目である日本語科目の報告として, 2017年10月入学の1年生の後期 (春学期) 日本語科目と, 2018年10月入学の前期 (秋学期) 日本語科目について述べる。

春学期日本語科目 (「総合日本語2・日本語セミナー (コミュニケーション) 2」または, 「アカデミック日本語」2, 4「ビジネス日本語」2, 4) を履修した1年生は34名であった。

2018年度の新入生には, 例年どおり9月にプレースメント・テスト及び, 日本語ガイダンスを実施し, 日本語で単位を取る学生を適切なクラスに振り分けた。入学者中, 必修外国語を日本語で取る学生は35名であった。初級クラスは29名, 6名が中級クラスとなり, 帰国した1名を除き全員が必修6単位を取得することができた。

卒業生は, 日本及び海外の大学院へ進学する学生が多いが, 少しずつ日本の企業に就職する学生も増えている。また, 海外の大学院を修了後, 日本の企業に就職する学生も出てきており, キャリア形成における日本語学習の重要性がますます重要となってきた。今後も, さらに多くの学生が日本での就職に希望が持てるよう, 就職支援と連携を取り, 情報の発信, 日本語能力試験対策講座や就職のための日本語講座の拡充を進めることが求められている。

以下は毎年開講されている授業科目の一覧 (コース名と主要教材) である。分かりやすいように, 秋学期を先にする。必修科目は1年次に行われるが, 2年生以上で日本語を使って研究, 就職を考えている学生にも, 必修以外の科目は履修可能になっている。

また, アカデミック日本語 (文章理解・文章表現) 5とビジネス日本語はNUPACEや院生, 研究生, G30の大学院生なども受け入れており, 多くの留学生が受講している。

〈秋学期〉 (2018年10月～2019年3月)

- ・総合日本語 1a・1b (必修)
- ・日本語セミナー (コミュニケーション) 1a・1b
『日本語初級1大地』 (必修)
『Write Now! Kanji for Beginners』
- ・アカデミック日本語 (文章理解・文章表現) 1
『大学・大学院留学生の日本語1読解編』
『大学・大学院留学生の日本語2作文編』
- ・アカデミック日本語 (文章理解・文章表現) 3
『大学・大学院留学生の日本語3論文読解編』
『大学・大学院留学生の日本語4論文作成編』
- ・アカデミック日本語 (文章理解・文章表現) 5
『日本語学習のためのよく使う順漢字2200』
- ・アカデミック日本語 (聴解・口頭表現) 1
『中級日本語で挑戦!スピーチ&ディスカッション』
- ・アカデミック日本語 (聴解・口頭表現) 3
『アカデミック・スキルを身につける聴解・発表ワークブック』前半
- ・ビジネス日本語 1
『新装版ビジネスのための日本語』前半
- ・ビジネス日本語 3
『新装版商談のための日本語』前半

〈春学期〉 (2018年4月～2018年9月)

- ・総合日本語 2a・2b (必修)
- ・日本語セミナー (コミュニケーション) 2a・2b
『日本語初級2大地』 (必修)
『Write Now! Kanji for Beginners』
- ・アカデミック日本語 (文章理解・文章表現) 2
秋学期と同じ教材の後半
- ・アカデミック日本語 (文章理解・文章表現) 4
秋学期と同じ教材の後半
- ・アカデミック日本語 (文章理解・文章表現) 5
『日本語学習のためのよく使う順漢字2200』
- ・アカデミック日本語 (聴解・口頭表現) 2

『もっと中級日本語で挑戦！スピーチ&ディスカッション』

- ・アカデミック日本語（聴解・口頭表現）4

『アカデミック・スキルを身につける聴解・発表ワークブック』後半

- ・ビジネス日本語 2

『新装版ビジネスのための日本語』後半

- ・ビジネス日本語 4

『新装版商談のための日本語』後半

2. その他の活動

(1) 日本語教育実践入門

2018年度4月から、日本人大学生向けの講義「日本語教育実践入門」を教員2名により開講した。日本語教育の基礎を学ぶとともに、国際プログラム1年生の日本語の授業を見学し、留学生との交流を推進することを目的としている。文系、理系双方の学生が履修しており、積極的に取り組んでいる。

(2) 愛岐留学生就職支援コンソーシアム「留学生就職促進プログラム」ビジネス日本語講座

愛岐留学生就職支援コンソーシアムが行っている「留学生就職促進プログラム」のビジネス日本語講座のコーディネートを行った。開講された講座は次の通りである。

日本語能力試験対策講座 N1（夏休み中）

日本語能力試験対策講座 N5-4（夏休み中）

日本語能力試験対策講座 N4（夏休み中）

日本語能力試験対策講座 N1（秋学期中）

日本語能力試験対策講座 N2（秋学期中）

日本語能力試験対策講座 N3（秋学期中）

就活準備日本語講座（基礎）（秋学期・土曜日）

就活準備日本語講座（実践）（秋学期・土曜日）

中上級日本語能力向上支援講座（秋学期中）

日本語能力試験対策講座 N1（春休み中）

日本語能力試験対策講座 N5（春休み中）

日本語能力試験対策講座 N5-4（春休み中）

ビジネスコミュニケーションのための日本語

（春休み中）

講座の受講者の総数は312名であった。各講座とも好評で、定員を上回る講座もあり、受講できない応募者も出た。他大学からの学生の参加もあり、日本での

就職や、そのために日本語を学ぶことに対する関心の高さがうかがえた。

(3) 名大基金感謝の集い

毎年春休みに行われる名大基金感謝の集いが3月に行われ、名大基金から奨学金をもらっている学生が感謝のスピーチを行った。本年度はG30の3年生を1名選出し、スピーチの指導を行った。



[2018年度名古屋大学基金感謝の集い]